

# あそび～な

馬路 清美

保護者の方からこんなメールが届きました。

「コロナ禍で入学し、放課後お友達と遊んだり、家を行き来する機会もないまま、あっという間に三年生になってしまいました。昨日はとても楽しかったようです」そして、お迎えの時、こんな話も聞きました。

「小学校に入学してから友達と群れて遊ぶことができなくて、友達との距離感がつかめていないような気がします。」

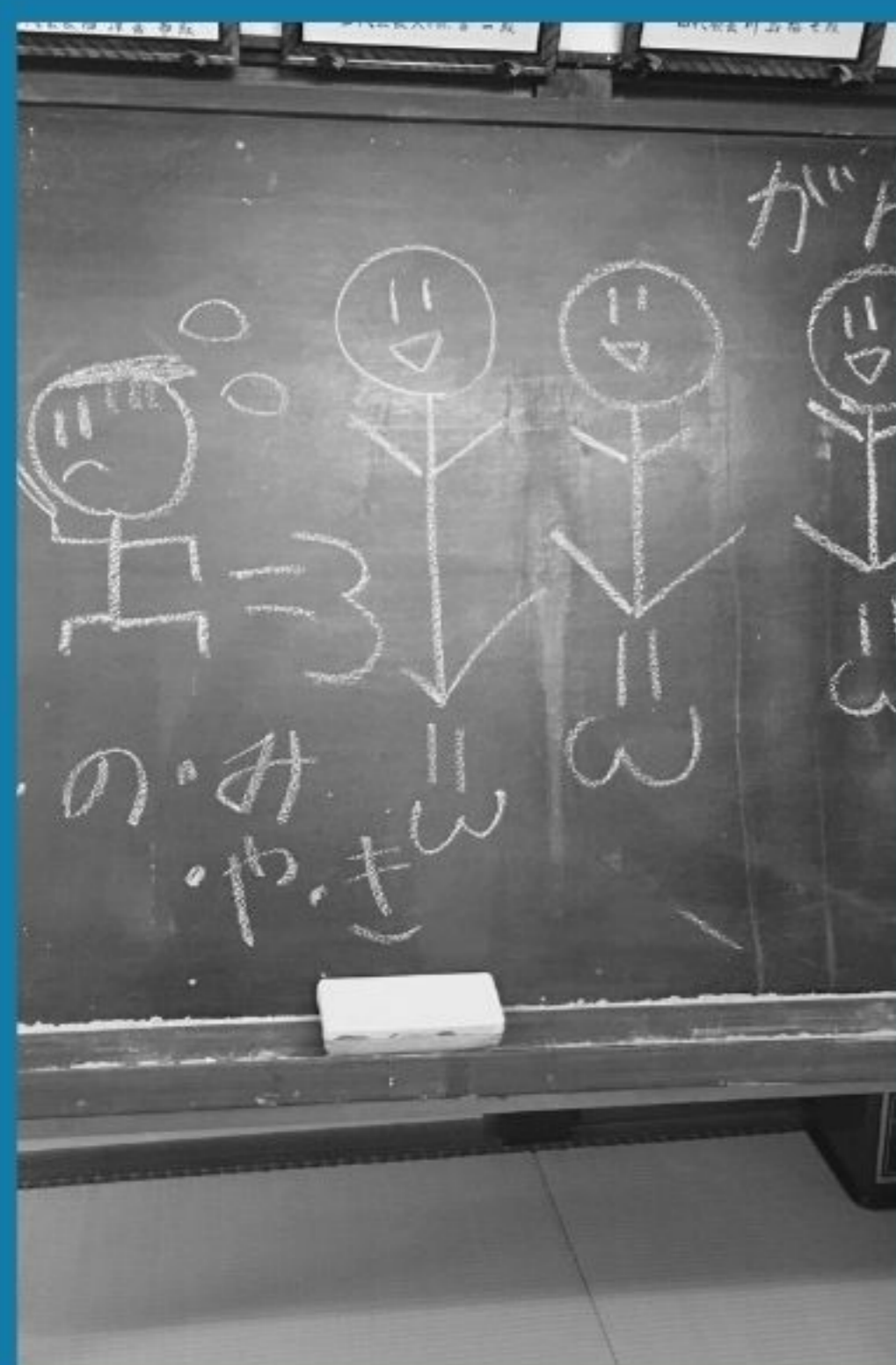
「帰ってくるとすぐテレビの前。そこから離れないんです。」この2年間、自粛や行事の中止、延期という体験をしてきた子どもたちは、我慢を強いられ、「仕方ない」とあきらめの気持ちになったことも増えてたでしょう。そして、友達と遊ぶことも少なく、孤立化するような状況だったのではないのでしょうか。

そんな子ども達に「あそびにおいでよ」と、日本財団の助成により活動をはじめた「あそび～な」です。異年齢の子どもたちが群れ遊ぶ場で、見守る大人たちもいろんな年齢の大人がいるような場にしたいのでスタッフを募集しています。そして、スタッフを「先生と叫ばない」ように、子ども達と約束しています。地域の大人の人と別の場所で会っても、名前呼び合える関係になれるとステキですね。



顔見知りが増えることは、子どもも大人も安心して暮らせる地域になると考えています。

「あそび～な」を開設するにあたって、「明寿会老人憩いの家」を貸していただいたことも、地域の関係が築かれる大切なことでした。子どもたちは、庭を駆け回り、工作をし、先生や親ではない大人と会話をしています。地域の方々と連携し、子どもたちがさまざまな体験と出会いができる場になっていくことを願っています。



## 暑くなってきました！

水筒なくても、水道水を紙コップで提供しています。部屋では蚊取り線香をたく季節になりました。

5月に入ってから水遊びで盛り上がっています。水遊びも色々、その日のみんなの気分で遊び方が違います。着替えを持ってきてダイナミックに遊ぶこともあるようです。お部屋では、アジサイの飾り物やビーズ、マクラメなどの作り物をしています。何かをしなくてはいけない場所ではないので、何もしたくなくて、お友達の様子をみているってこともあったり、のんびり過ごしています。

この先、真夏日となる日も増えてくるので、エアコンの設置を検討しています。

Instagram : irumaasobina

